



だっこするよ

平成29年9月

社会福祉法人茂原高師保育園

北区立赤羽台保育園

〒115-0053 北区赤羽台1-4-11-105

TEL 3900-0189 FAX 3907-8690

園長 奥戸 昌子

自分の命を守れるこどもへ 訓練を積み重ねていくこと

9月1日は、防災の日です。防災の日とは、政府、地方公共団体などの防災関係機関をはじめ広く国民が自然災害についての知識を深め、備えを強化して防災力を高めようと制定された日です。小さな命を集団で預かる施設として、常に最善の安全を築くことが私たちの第一義的責任です。どんなときでも自分の命を守れるこどもに育てるため日頃からの何をすればよいのか？園の防災管理への意識を深め、安全安心の保育を提供していきたいと思えます。

園では、年間非常災害訓練計画表を作成し（1階2階掲示板）訓練を行う時間帯を変えて行っています。8月は夕方のお迎え時、地震発生後、給食室から出火という設定で訓練が始まりました。放送を聞き、第一避難場所まで「お・か・し・も」を守って避難しました。特に小さなこどもたちの安全には日々の愛着関係が必要です。乳児さんは保育者におんぶされてたり、避難車に乗せられながら避難します。こどもと保育者との信頼のもと、訓練のねらいが小さくてもしっかりと共有できるのです。避難を開始して3分30秒、避難が完了しました。全クラス職員の指示に従い、緊張しながらも真剣に避難する姿を見ると毎回、胸がいっぱいになります。これは歳のせいでもなく、「目の前のこどもたちを何があっても守りたい」この思いは私だけでなく、日本中の保育所職員は皆が感じていることでしょう。未来の希望である一人ひとりがとても愛おしいです。

保育園では以下の3点の充実特に力を入れてまいります。

1、防災に対する保育の充実

こどもたちの発達に合わせた安全教育を毎月の避難訓練を通して繰り返し行い、命の尊さを伝えます。こども自身が主体的に行動できるようにするには、こども自身の中に身を守る術を育てていくしかありません。そのためには判断力、行動力、体力を養い、身の回りの危険を知り自分で考えて対応できるように訓練を重ねます。

2、地域社会、保護者との連携

地域社会、自治会の皆さん、保護者と協力して情報を共有して、こどもの安全を守る。

3、施設、設備の整備充実、職員研修の充実

安全点検をはじめ、職員の防災教育の推進・危機管理マニュアル等の共通理解を深めると共に、園内研修として毎年、赤羽台消防署の協力を得て、消火器訓練、応急法の訓練心肺蘇生法を学んでいます。

帰宅困難時は、保護者の方がお迎えに来られるまで責任を持っておこさんをお預かりします。災害はいつ起こるか分かりません。提出していただいている家庭状況調査表の緊急連絡先、非常災害時の園児引渡しについて変更がある場合、また、お仕事がお休みの場合や通常と違う勤務の場合は、朝の受け入れ時に、その日の連絡先を必ずお伝え下さい。

暴風雨など警報が発令されている場合は、なるべく家庭保育をお願いしていますが、登園される場合は安全を確認してから登園してください。どんなときもこどもの最善の利益を踏まえて大人たちがつながり、支えあい、助け合う安心安全な保育園へと成長できればと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

※写真は8月の避難訓練時の様子です。